

創世記 24:10-28 神の御心を知る パート1

前回はアブラハムが息子イサクの妻を見つけるために召使を送り出した箇所を見ました。この出来事全体から私たちは神の御心を知り、それに従うことを学ぶことができます。まずはアブラハムが神の御心を神の望まれる方法で成そうとしたところを見ました。今日の箇所ではイサクに花嫁が見つかり、話がどのように展開していくかを見ると、どのように神の御心を知ることができるのかが分かります。この神の御心を知ることについて2週に渡ってみたいと思います。まずは祈りましょう。

前回の続きとなる10節から、まずは14節まで読みましょう。「10.しもべは主人のらくだの中から十頭を連れて出かけた。主人のあらゆる良い品々をその手に携えていた。彼は立って、アラム・ナハライムのナホルの町へ行った。11.彼は夕暮れ時、水を汲む女たちが出て来るころ、町の外の井戸のそばにらくだを伏させた。12.そうして言った。「私の主人アブラハムの神、主よ。どうか今日、私のために取り計らい、私の主人アブラハムに恵みを施してください。13.ご覧ください。私は泉のそばに立っています。この町の人々の娘たちが、水を汲みに出て来るでしょう。14.私が娘に、『どうか、あなたの水がめを傾けて、私に飲ませてください』と言い、その娘が、『お飲みください。あなたのらくだにも水を飲ませましょう』と言ったなら、その娘こそ、あなたが、あなたのしもべイサクのために定めておられた人です。このことで、あなたが私の主人に恵みを施されたことを、私が知ることができますように。」

アブラハムの故郷で彼の民の中からイサクの妻を探すことを誓ったしもべは出かけました。実際にしもべがどのようにイサクの妻を探したかを見る前に、そもそもイサクの嫁探しの基本的なスタンスをしもべの最初の行動に見ることができます。彼は嫁探しの前に一つの重要な行動を取ります。祈ったのです。祈りは私たちにとって神の御心を探る主な方法です。まずお伝えしておきたいのは、神はご自身の御心を成されるということです。御心は成し遂げられます。聖書は未来が私たちによって決められるわけではないことを明確に示しています。私たちがやったこと、やらなかったことのどちらも未来を決めることはありません。人間の行動が神の反応を決定するのだという「解放神論」という見方があります。これは未来は開かれており、人間は完全に自由なので神が将来について絶対的に全てを知っておられるのではなく、人間の自由な行動に反応するのだと言う点においてその主権は制限されているという見方です。この見方を支持する聖書学者たちは、創世記6:6「それで主は、地上に人を造ったことを悔やみ、心を痛められた。」といった箇所をその理由としています。ですが、このような箇所は神の無知を示すものとして解釈すべきではありません。神がどのように救いを可能として下さったのかを直接示してくれる聖句には、神の御心と目的は創造の御業の前に決められていたとありますから、最初の人間たちが墮落することをご存じだったことが分かります。エペソ人への手紙1:4には「すなわち神は、世界の基が据えられる前から、この方にあつて私たちを選び、御前に聖なる、傷のない者にしようとされたのです。」とあります。この世が創造される前に神は誰が救われるのかを選んでおられたというのであれば、神は私たちが救いを必要とするということもご存じだったことが分かります。

神が私たちを必要とされないという前提条件があるので、私たちは神の御心を知る上での祈りの重要性に目を向けることができます。祈りを神の御心が示される場として捉えるとき、神が応答されると約束されたのはどのような祈りかに注目することが大切です。祈りについて2つの箇所を見てみたいと思います。最初の箇所はヤコブの手紙4:3です。「求めても得られないのは、自分の快樂のために使おうと、悪い動機で求めるからです。」とあります。ここで神は、神が応答されない祈りは利己心に基づく祈りであると教えておられます。つまり神の御心を祈るのでなく、私たちの意志と欲望や快樂のために神が私たちの人生に働いてくださるよう祈る祈りだとヤコブは言っています。神の御心を求める祈りは、神の御心を探ることを中心に祈られるべきで、私たちが自分に最善と思うものを神に願い求めるだけのものでもあってはなりません。これは2つ目の箇所で語られている点です。1ヨハネ5:14では「何事でも神のみこころにしたがって

願うなら、神は聞いてくださるということ、これこそ神に対して私たちが抱いている確信です。」とあります。ですから、私たちは自分の心に従って祈るのではなく、神の御心に従って祈るのです。

もちろん私たちは神の御心を知るために祈るということについてお話しているわけですが、そうであれば神の御心が分からないときにどのようにして神の御心に従って祈れば良いのでしょうか。それは最終的に私たちの態度につきるのではないのでしょうか。どんなに難しくても神が命じられたことに従いますと祈っているのでしょうか。アブラハムのしもべは神がイサクの妻として誰をお選びになったのか知りませんでした。自分がその人を見つけることは神の御心であると知っていました。ですから、その知識に基づいて彼は祈りました。神に、あなたは私がイサクのために妻を見つけることを望まれていると知っていますから、その人を私に見せてください、と祈ったわけです。そしてイサクの花嫁候補としてどの女性にアプローチするか決めるために何をしようとしているのかを神に伝え、そこに神の祝福を求めました。神の御心を探る方法の一つ一つを、これが聖書的な神の御心を探る方法だということはいけません。ただ、これがこのしもべの取った方法で、単に思い付きではなかったということができるかと思います。おそらくそこにはたくさんの方が来ていたでしょうし、その全ての女性に自分の主人の息子と結婚してくれませんかと話しかけたり、それぞれの女性の家族と話をし女性を適切な候補者かを調べたりといったことはしなかったでしょう。将来結婚を希望している方々、結婚相手を見つけたいと言うあなたの祈りに神が応えるのはこのような形でではないでしょう。神の御心を祈ってください。ですが、それぞれの祈りの答えはそれぞれに違って見えるであろうことを理解しておいてください。時にはどれだけ繰り返し祈っても神の御心が明確に示されないように思えて、それがなぜなのだろうと思うことがありますが、ここではそうではありませんでした。聞き届けられる祈りについて、15-21 節で次に何が起こるのか見ましょう。

「15.しもべがまだ言い終わらないうちに、見よ、リベカが水がめを肩に載せて出て来た。リベカはミルカの子ベトエルの娘で、ミルカはアブラハムの兄弟ナホルの妻であった。16.この娘は非常に美しく、処女で、男が触れたことがなかった。彼女は泉に下りて行き、水がめを満たして上がって来た。17.しもべは彼女の方に走って行って、言った。「どうか、あなたの水がめから、水を少し飲ませてください。」18.すると彼女は、「どうぞ、お飲みください。ご主人様」と言って、すばやくその手に水がめを取り降ろし、彼に飲ませた。19.水を飲ませ終わると、彼女は、「あなたのらくだにも、飲み終わるまで、水を汲みましょ」と言った。20.彼女は急いで水がめの水を水ぶねにあげ、水を汲みに、再び井戸まで走って行き、すべてのらくだのために水を汲んだ。21.この人は、主が自分の旅を成功させてくださったかどうかを知ろうと、黙って彼女を見つめていた。」

しもべが祈りを終える前に魅力的な若い女性が泉に水を汲みにやってきて、しもべが祈っていた通りのことをしました。水を飲ませてくれというしもべの頼みに快く応じて水を飲ませ、すぐにラクダのためにも水を汲むことを申し出ました。皆さんはどうか分かりませんが、私はどんなに信仰が強められた時であっても、それほど具体的に、またそれほどすぐに神が祈りに答えられたのを見たことがありません。そして21 節ではとても興味深いことが書かれています。「この人は、主が自分の旅を成功させてくださったかどうかを知ろうと、黙って彼女を見つめていた。」とあります。なぜ彼は彼女を見つめていたのでしょうか。彼女は既に祈り通りの人でした。もし私がこのしもべであつたら、すぐに彼女にダイヤモンドは好きかと尋ね、婚約指輪を取り出したと思います。けれどこのしもべはそうしませんでした。このことから神の御心を知ることにについて私たちが学ぶべき点があります。神の御心を知ることは、ただチェックリストを消していくことではなく、神が与えて下さった常識をもって人々や状況を判断することです。現代の人々はしるしや奇跡を探ることを大変好み、神の御心を知ることは、このような予言の成就や神が奇跡的な方法で働かれている証拠を見る事に基づいているというクリスチャンが多くいます。ですが、神の導きが明らかだと思える時でさえ、神の御言葉の外にあるものについては、それが神の導き

だにとらえる前に注意深く評価する必要がある、主観的な経験だにとらえるべきです。私たちは皆、起こって欲しいと願ったことが起こったと確認できるものを探す傾向があります。

なぜこのことが重要かという証拠として、カリスマ派クリスチャンの間で現代の預言者と呼ばれている人たちのことが挙げられます。一人を除いて全ての現代の預言者と認められている牧師たちは、アメリカ国民とともに、ドナルド・トランプ氏が再選されると予言しました。まだある程度聖書に従っている人たちは、この預言が成就しなかったことから彼らが偽予言者だと知り、新使徒運動を支持する教会の内部では論争が巻き起こりました。ですから私たちは神の御言葉が神の御心を示していると思う自身の感情や経験さえ精査し、自分たちが望んだことが起こったと思える主観的な経験に信頼してはならないのです。時にはアブラハムのしもべのように神が働かれるのを見ることもできますが、目の前に起こっていることが実際には現実ではなかったり神の御言葉と一致していないといった時もあり、そういう場合は神の御心ではありません。ヨハネの手紙1 4:1-3はこのような事について語っています。「愛する者たち、霊をすべて信じてはいけません。偽預言者がたくさん世に出て来たので、その霊が神からのものかどうか、吟味しなさい。神からの霊は、このようにして分かります。人となって来られたイエス・キリストを告白する霊はみな、神からのものです。イエスを告白しない霊はみな、神からのものではありません。それは反キリストの霊です。あなたがたはそれが来ることを聞いていましたが、今すでに世に来ているのです。」神の御心を理解するよう促していると思えることは全て、神の御言葉と聖書のメッセージの中心であるイエス・キリストによって吟味されるべきです。大切なのは、私たちが見ていることや、牧師や預言者だと主張する人が真実だと語ることを鵜呑みにしてはいけないということです。そうしたことは神の御言葉や、私たちのイエス・キリストについての知識、そしてキリストが御言葉の中でどのように示されているかに基づいて評価します。神の御心であれば全て、ヨハネ14:6で「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです」と語られたイエスと完全に一致します。

けれどここでは、しもべは神が働かれていることに気づき、それが神の働きであることを確認するためにもう一歩進みます。アブラハムがもう一つしもべに誓わせたことは、彼がアブラハムの出身地に行くことだけでなく、アブラハムの親族のところに行かねばならなかったことを思い出してください。創世記24:4に「私の国、私の親族のところに行って」とあります。ですから、このことが神の御心を求めた祈りへの答えに思えますが、しもべは彼女の家族について知る必要がありました。22-28節からしもべの次の行動を見ましょう。「22.らくだが水を飲み終わったとき、その人は、重さ一ベカの金の飾り輪と、彼女の腕のために、重さ十シケルの二つの金の腕輪を取り、23.尋ねた。「あなたは、どなたの娘さんですか。どうか私に教えてください。あなたの父上の家には、私どもが泊めていただける場所があるでしょうか。」24.彼女は答えた。「私は、ミルカがナホルに産んだ子ベトエルの娘です。」25.また言った。「藁も飼料も、私たちのところには、たくさんあります。それに、お泊まりになる場所も。」26.その人は、ひざまずき、主を礼拝して、27.こう言った。「私の主人アブラハムの神、主がほめたたえられますように。主は、私の主人に対する恵みとまことをお捨てになりませんでした。主は道中、この私を導いてくださいました。主人の兄弟の家まで。」28.その娘は走って行って、母の家の者に、これらのことを告げた。」

しもべは彼女に贈り物を差し出し、家族について尋ねます。この当時、泊めてもらうようお願いすることは無礼ではありませんでしたから、彼女の家族と会う機会を作ろうとしたわけです。しもべとらくだが泊まるための場所も食べ物もあることを保証する姿に、彼女の寛大さと優しさが輝き続けています。そして物語のこの部分は別の祈りで締めくくられています。その祈りは感謝の祈りでした。この神の御心を探るとい話の中で非常に明確な点があるとすれば、それは祈りがプロセスの基礎になくってはならないということです。ここにある祈りの中には、この旅を導いておられるのは神だという認識があります。彼は27節で「主は道中、この私を導いてくださいました。主人の兄弟の家まで。」と言っています。神の御心を知るという事は、結局のどこ

る神のご計画、神の目的、神の道に身を委ねるということです。イサクの妻を探すために何が起こったのかと、このしもべの間には何の関係もありません。神はただイサクの妻についての御心を明らかにするために、このしもべを用いられました。この旅を計画したのは彼ではなくアブラハムでした。彼が彼女を探し当てたのではなく、彼女の方から彼の前に現れました。では、彼はどこに達成感を得たでしょう。特になかったのではないのでしょうか。ですが、神の御心を行うことで、神が働かれるのを見、その働きの一部を担う事の喜びが得られます。しもべは自分の努力が特に何の結果も生まなかったことを気にも留めませんでした。むしろ神が明らかにアブラハムのために、また主人アブラハムの代わりに送り出された自分のために働いておられることに喜びと満足を感じました。

神はその御心を明らかにするためにご自身が働かれるのを見せることで、しもべにご自身の愛と誠実さを示されました。神は既に全てを備えておられ、花嫁についてのご計画を明らかにしておられる最中でした。アブラハムがイサクを捧げようとした箇所最後にリベカの系図が述べられていたことを思い出してください。それはとても唐突な事のように思えましたが、そうではありませんでした。神は働かれていたのです。そして神は皆さんの人生にも働いておられます。神にはご計画があり、それは決して行き当たりばったりなものではありません。神の御心はまず第一に皆さんを救う事です。エペソ人への手紙 1：4-6 は「4.すなわち神は、世界の基が据えられる前から、この方において私たちを選び、御前に聖なる、傷のない者にしようとされたのです。5.神は、みこころの良しとするところにしたがって、私たちをイエス・キリストによってご自分の子にしようと、愛をもってあらかじめ決めておられました。6.それは、神がその愛する方において私たちに与えてくださった恵みの栄光が、ほめたたえられるためです。」とっています。もしあなたがイエス・キリストをご自分の主であり救い主としてご存知ないのなら、あなたに対する神の御心がイエス・キリストを受け入れることだと 100%の確信を持って言うことができます。神はあなたを選ばれ、あなたがイエス・キリストを受け入れるならば神の子どもとして認めるよう決めてくださいました。そして救いの先についてさえ、神はあなたの人生に確固たるご計画をお持ちです。エペソ人への手紙の次の章で、救いは働きやお金で得ることはできず、イエス・キリストへの信仰の賜物として与えられるという事実が説明されています。また救いは、私たちが成し遂げるよう神が備えて下さったご計画とともに与えられるとも説明されています。エペソ人への手紙 2：8-10 「8.この恵みのゆえに、あなたがたは信仰によって救われたのです。それはあなたがたから出たことではなく、神の賜物です。9.行いによるものではありません。だれも誇ることのないためです。10.実に、私たちは神の作品であって、良い行いをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです。神は、私たちが良い行いに歩むように、その良い行いをあらかじめ備えてくださいました。」そうであれば、神が私たちのために完べきな御心を持って備えて下さった良い行いが何であるかを探るために、私たちがどれだけの時間を祈りに捧げているかを考えるべきではないでしょうか。祈りましょう。

Sermon Genesis 24:10-28 Knowing God's Will Part 1

Last week we started this story of Abraham sending his servant out to find his son Isaac a wife. This whole episode can teach us about knowing and following God's Will, and that was where we started when we saw that Abraham wanted to do God's Will, God's way. But as we now get into this passage and see how the story unfolds and the bride for Isaac is found, we get to see a picture of how to know God's Will. We are going to look at this in two parts and finish up this focus on Knowing God's Will next week. *Let's pray as we begin today.*

Let's begin where we left off last week with verse 10 and read through verse 14. ¹⁰Then the servant took ten of his master's camels and departed, taking all sorts of choice gifts from his master; and he arose and went to Mesopotamia^[a] to the city of Nahor. ¹¹And he made the camels kneel down outside the city by the well of water at the time of evening, the time when women go out to draw water. //

¹²And he said, "O Lord, God of my master Abraham, please grant me success today and show steadfast love to my master Abraham. ¹³Behold, I am standing by the spring of water, and the daughters of the men of the city are coming out to draw water. ¹⁴Let the young woman to whom I shall say, 'Please let down your jar that I may drink,' and who shall say, 'Drink, and I will water your camels'—let her be the one whom you have appointed for your servant Isaac. By this^[b] I shall know that you have shown steadfast love to my master."

So, the servant that Abraham had made to swear a promise to him to find Isaac a wife among his own extended family makes his way to where Abraham has left. Before we even see what happens to find Isaac a wife, we see the servant do an action that really sets the foundation for what happens to find Isaac a wife. Before this servant started looking, he took one key action – he prayed. **Prayer is the primary way we discover God's Will.** Let me just say first that God is going to do what he is going to do. His will is going to be accomplished. The Bible is clear that the future is not determined by us or by our action or non-action. There is a view called "open theism" that human action determines God's responses. In other words the future is open and God's sovereignty is limited in that we have completely free choice to make decisions that he does not anticipate and must respond to. And those Bible teachers would support that view with verses like [Genesis 6:6, which says](#) ⁶And the Lord regretted that he had made man on the earth, and it grieved him to his heart. But these passages should not be interpreted as showing Divine Ignorance. Passages that directly teach us about how God worked salvation shows that his will and purpose was determined long before creation so he knew his first humans would fall. [Ephesians 1:4 says, even as he chose us in him before the foundation of the world, that we should be holy and blameless before him.](#) If he chose who would be saved before the foundation of the world or creation, then he knew we would need saving.

With that foundation being set that God does not need us, then we can turn to the importance of prayer in knowing God's Will. And when we look at prayer being the source of God's will, it is important to note that it is a certain type of prayer that God has promised to respond to. I want to look at two verses about prayer. The first is [James 4:3. It says, You ask and do not receive, because you ask wrongly, to spend it on your passions.](#) In this passage of Scripture, God is teaching us that prayer that God does not respond to is prayer that is based in selfishness. In other words, instead of

praying for God's will, we instead pray that God will shape our lives to our will and desires, our passions as James says here. Our prayers for God's will must revolve around seeking God's will and not simply praying that he will give us what we think is best for us. This is where the second verse applies. [1 John 5:14 says, And this is the confidence that we have toward him, that if we ask anything according to his will he hears us.](#) So, we do not pray according to our will, but God's will.

Of course we are talking about praying to find God's will, so how do we pray according to his will when the point is we don't know his will at that moment? It comes down to our attitude. Are we truly praying and saying to God that you are willing to do anything he tells you to do, no matter how hard it is? Abraham's servant didn't know who God had chosen to be Isaac's wife, but he knew that it was God's will that this servant find him a wife. So, he prayed based on that knowledge of God's will. He was saying to God, I know you want him to have a wife, now please show me that wife. He even told God the method that he was planning to use to determine which woman to approach first about becoming Isaac's wife and asks God to bless that method. Now, you can't take every example of seeking God's will and say this is the Bible method for figuring out God's will. This seems to be more of how he was doing it, so that it wasn't just random. There were likely many women coming and he didn't want to create some sort of scene by asking all of them to marry his master's son or talking to each of their families to find out if they were suitable. Teenagers and adults looking forward to marriage, this is likely not how God will answer your prayer to find a spouse. Pray for God's will, but understand of course that the specific details of each case will look different.

Sometimes, you pray and pray and pray and wonder why it seems you still don't have clarity about God's will, but this case was nothing like that. You want to talk about an effective prayer, look at what happens next in verse 15-21. [15 Before he had finished speaking, behold, Rebekah, who was born to Bethuel the son of Milcah, the wife of Nahor, Abraham's brother, came out with her water jar on her shoulder. 16 The young woman was very attractive in appearance, a maiden^{\[c\]} whom no man had known. She went down to the spring and filled her jar and came up. 17 Then the servant ran to meet her and said, "Please give me a little water to drink from your jar." 18 She said, "Drink, my lord." And she quickly let down her jar upon her hand and gave him a drink. 19 When she had finished giving him a drink, she said, "I will draw water for your camels also, until they have finished drinking." 20 So she quickly emptied her jar into the trough and ran again to the well to draw water, and she drew for all his camels. 21 The man gazed at her in silence to learn whether the Lord had prospered his journey or not.](#)

Before the servant even finished his prayer, an attractive young lady came to the spring to draw water and then did exactly what the servant had just been praying about. When he asked her for a drink, she never hesitated, but gave him a drink, and immediately offered to get water for his camels. Now I don't know about you, but even in times of my greatest faith, I do not expect nor have I seen God answer prayer so specifically, in such an immediate way! Then comes what to me is the really interesting point in verse [21, The man gazed at her in silence to learn whether the Lord had prospered his journey or not.](#) Now, why did he watch her? She already fulfilled his prayer. I'm pretty certain if I had been that servant, I would have immediately started asking her if she liked diamonds and pulling out the engagement ring! But not this servant. There is an aspect of knowing God's will that we should take away from this. Knowing God's will is not simply checking

a box, it is using the common sense God gave us to judge people and situations. People today love looking for signs and wonders and there are many Christians that for them knowing God's will is based on seeing this type of fulfilled prophecy and evidence of God at work in really miraculous ways. But, even when we think there is a clear sign of God leading, everything outside of God's Word must be taken as a subjective experience that we must carefully evaluate before assigning it to God's leading. There is a tendency we all have to look for things that validate what we already want to happen.

We have evidence of why this is important in very recent events with modern day prophets in Charismatic Christian circles. Every pastor who identifies as a modern day prophet except one, with a national audience in the United States prophesied that Donald Trump would be re-elected. It has caused an internal argument in the New Apostolic Reformation churches because those who still follow the Bible to some degree know that they were proven to be false prophets by their prophecies not coming true. This is why we evaluate even our feelings or experiences that may be showing us God's will by the Word of God and not just trust those subjective experiences that seem to lead us to what we want to happen. Now, sometimes, as this servant of Abraham found out, God is indeed at work but other times waiting to see more of what happens will cause us to see that what we are seeing is either not actually real or not in line with God's Word and therefore out of God's Will.

1 John 4:1-3 speaks to this idea. It says, [Beloved, do not believe every spirit, but test the spirits to see whether they are from God, for many false prophets have gone out into the world.](#) 2 [By this you know the Spirit of God: every spirit that confesses that Jesus Christ has come in the flesh is from God,](#) 3 [and every spirit that does not confess Jesus is not from God.](#) Everything you see or think you see pushing you to understand God's will should be evaluated by God's Word and the person that is the central message of the Bible, Jesus Christ. The bottom line is that we are not supposed to just accept that what we see or what someone who claims to be a pastor or prophet says is the truth. We evaluate it against God's Word and what we know about Jesus Christ and how he is proclaimed in Scripture. Anything that is God's Will will line up completely with Jesus who says he is as [the Way, the Truth, and the Life in John 14:6.](#)

In this case, though, the servant realizes that God is at work and he takes the next step to confirm that this is God at work. Remember that the other stipulation from Abraham is not just that he go to the country he left, but he had to go to Abraham's extended family. [Verse 4 of this chapter Genesis 24 says, "...go to my country and to my kindred..."](#) So, while this seems to be an answer to the prayer to know God's will, he needs to find out about her family. That is what he does as we continue reading from verses 22-28. [22 When the camels had finished drinking, the man took a gold ring weighing a half shekel,^{\[c\]} and two bracelets for her arms weighing ten gold shekels, 23 and said, "Please tell me whose daughter you are. Is there room in your father's house for us to spend the night?" 24 She said to him, "I am the daughter of Bethuel the son of Milcah, whom she bore to Nahor." 25 She added, "We have plenty of both straw and fodder, and room to spend the night." 26 The man bowed his head and worshiped the Lord 27 and said, "Blessed be the Lord, the God of my master Abraham, who has not forsaken his steadfast love and his faithfulness toward my master. As for me, the Lord has led me in the way to the house of my master's kinsmen." 28 Then the young woman ran and told her mother's household about these things.](#)

The servant gives her gifts and asks her about her family. This would not have been considered rude at that time to ask for a place to stay, so he creates an opportunity to meet her family. And her generosity and kindness continue to shine through as she assures him there is food and bedding for his animals as well. And then this part of the story closes with another prayer. This time it is a prayer of Thanksgiving. If there is one thing that comes through strong and clear in this story of finding God's will it is that prayer must be the foundation of the process. And embedded within this prayer is the recognition that it was God who directed this journey. He says in verse 27, **As for me, the Lord has led me in the way to the house of my master's kinsmen.** Knowing God's Will is ultimately about surrendering to God's plan, God's purpose and God's path. This servant had absolutely nothing to do with what happened to find a wife for Isaac. He was simply the person God used to reveal his will for Isaac's wife. He didn't plan out the journey, Abraham did. He didn't even search for the girl, she came to him. So where is the sense of accomplishment in this for him? – there isn't any. But what comes from doing God's will is the joy of seeing God at work, and getting to be a part of what he is doing. It did not upset the servant that his hard work did not produce the result. Instead it gave him joy and satisfaction that God was clearly at work for Abraham and for him as the one sent by his master Abraham.

To see God at work in revealing his will pointed the servant back to God's love and faithfulness. God had already provided and was now in the process of revealing his plan for a bride. Remember when we pointed out at the end of the section about Abraham offering Isaac that the lineage for Rebecca was given. It seemed random, but it was anything but random. God was at work. And God is at work in your life. He has a plan for you that is not random at all. First of all God's will is to save you. [Ephesians 1:4-6](#) tells us... "even as he chose us in him before the foundation of the world, that we should be holy and blameless before him. In love 5 he predestined us for adoption to himself as sons through Jesus Christ, according to the purpose of his will, 6 to the praise of his glorious grace, with which he has blessed us in the Beloved." If you do not know Jesus Christ as your Lord and Savior today, I can tell you with 100 percent certainty that God's Will for you is to accept Jesus Christ. He has chosen you, predestined you to be adopted as God's child if you will accept Jesus Christ.

And even beyond salvation, God has a plan, his will for your life that is not random. In the very next chapter of Ephesians when describing the fact that our salvation cannot be worked for and earned or purchased, but given as a gift of faith in Jesus Christ, we are also told that our salvation comes with a specific plan designed by God for us to accomplish. [Ephesians 2:8-10](#) says, **8 For it is by grace you have been saved, through faith—and this is not from yourselves, it is the gift of God— 9 not by works, so that no one can boast. 10 For we are God's handiwork, created in Christ Jesus to do good works, which God prepared in advance for us to do.** So, at the end of this message, what all of us should consider is how much time in prayer are we spending to seek those good things he has already prepared in his perfect will for us to do? Let's pray.